

久仁子さん提案台本のビジュアルサポート素材

目次

1. 現状と理想の時間配分マトリクス

久仁子さんの時間活用の変革を視覚化

2. 1年後の成長目標インフォグラフィック

数値目標の明確な表現

3. 「創造と継続のバランス」3つの柱図解

事業成長の基盤を示す図

4. 情報管理効率化のピフォーアフター図

複数ツールから一元管理への移行

5. 100日変革プログラムのタイムライン図

段階的な実施計画

6. サポーター育成の5段階プロセス図

人材育成の体系的アプローチ

7. 投資対効果の比較グラフ

プログラム導入による変化の数値化

8. 段階的な次のステップ提案図

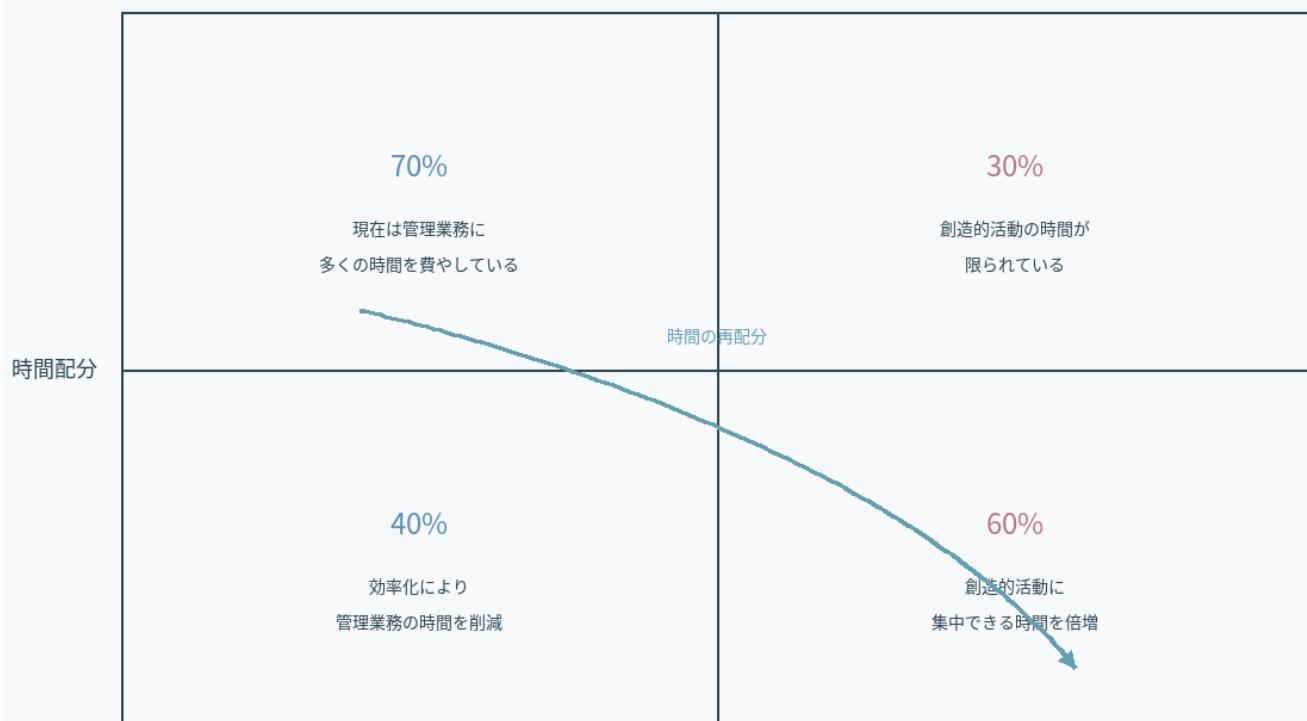
小さく始めて効果を確認する方法

※すべての素材は統一されたデザインガイドラインに基づいて作成されています

現状と理想の時間配分マトリクス

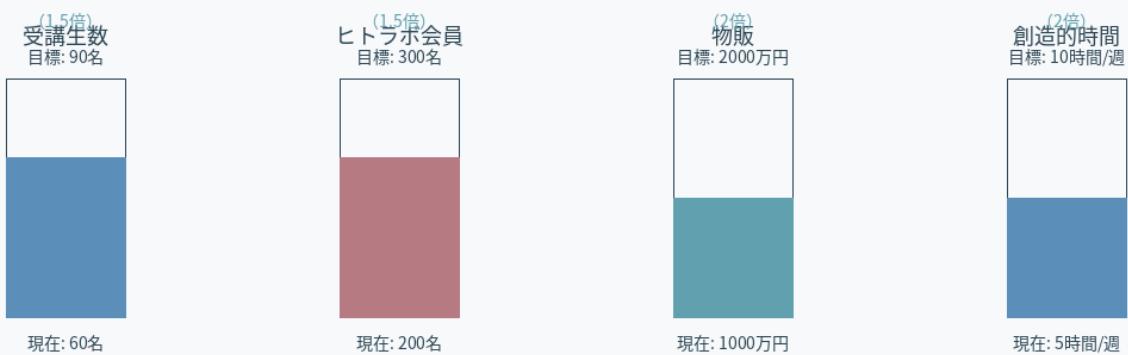
久仁子さんの時間活用の変革

現在



1年後の成長目標インフォグラフィック

数値目標の視覚化



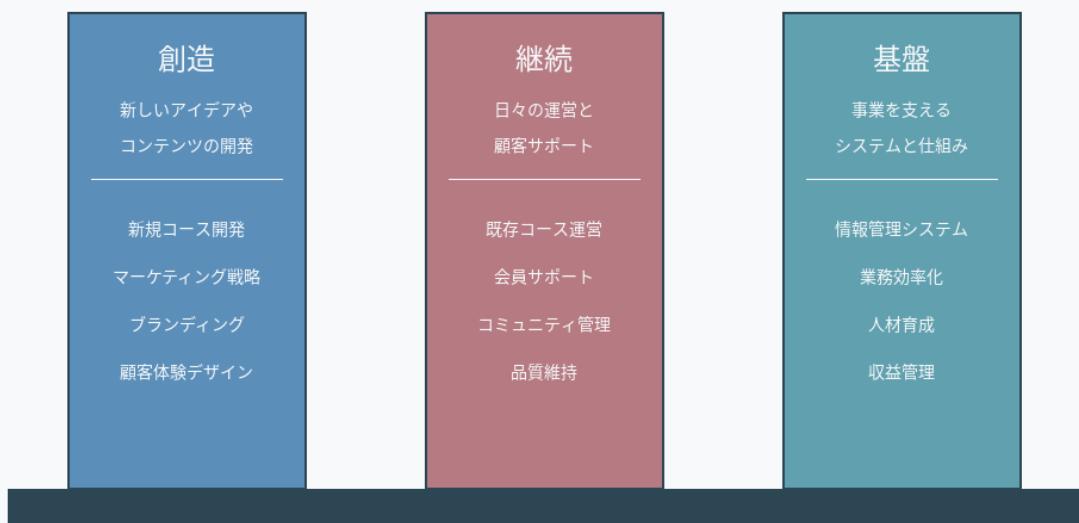
1年後の目標達成により実現すること

- ・受講生と会員の増加により、安定した収益基盤を確立
- ・物販の倍増により、新たな収益の柱を構築
- ・創造的時間の確保により、新規コンテンツ開発と品質向上を実現
- ・全体として、事業の持続可能性と成長性を大幅に向上

※目標達成のためには、情報管理の効率化と創造的時間の確保が重要です

「創造と継続のバランス」3つの柱図解

事業成長の基盤



3つの柱のバランスが事業成長の鍵

- ・「創造」と「継続」のバランスが取れていないと事業の成長が停滞
- ・「基盤」が弱いと「創造」と「継続」の両方に負担がかかる

※現状は「継続」に時間が取られ、「創造」の時間が不足しています。基盤強化により改善を目指します。

- ・3つの柱をバランスよく強化することで持続可能な成長を実現

情報管理効率化のビフォーアフター図

複数ツールから一元管理への移行

Before: 複数ツールでの分散管理

- 複数のツール（メール、スプレッドシート、メモアプリ）で情報が分散
- 情報の検索に時間がかかる（平均15分/日）
- 重要な情報の見落としや二重管理が発生
- ツール間の連携が手動で非効率
- 情報共有に手間がかかり、コミュニケーションロスが発生



After: 統合システムでの一元管理

- 1つのシステムで全ての情報を一元管理
- 情報検索が瞬時に可能（時間削減: 約1時間/週）
- 自動通知で重要な情報の見落としを防止
- ツール間の連携が自動化され、作業効率が向上
- チーム全体での情報共有がスムーズに

※情報管理の効率化は「基盤」~~期待され~~の時間を生み出す重要な施策です

100日変革プログラムのタイムライン図

段階的な実施計画

準備期 Day 1-30	導入期 Day 31-60	定着期 Day 61-100
<p>現状分析と計画策定</p> <ul style="list-style-type: none">・情報管理の現状調査・課題の洗い出し・改善計画の策定・必要なツールの選定	<p>新システムの導入と移行</p> <ul style="list-style-type: none">・新システムのセットアップ・データの移行・基本的な使用方法の習得・初期の運用テスト	<p>習慣化と効果測定</p> <ul style="list-style-type: none">・日常業務への完全統合・効率化の効果測定・問題点の改善・次のステップの計画

Day 30

改善計画完成
情報管理の改善計画が完成し、
実施の準備が整う

Day 60

新システム導入完了
新しい情報管理システムの導入が完了し、
基本的な運用が始まる

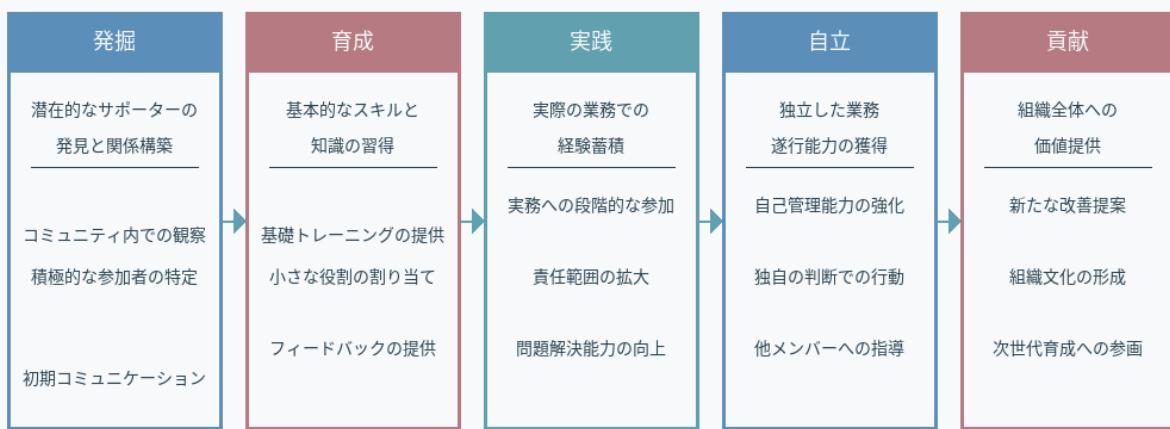
Day 100

効果測定と次のステップ
100日間の変革プログラムの効果を測定し、
次のステップを計画する

※各フェーズで着実に進めることで、無理なく情報管理の効率化を実現します

サポーター育成の5段階プロセス図

人材育成の体系的アプローチ



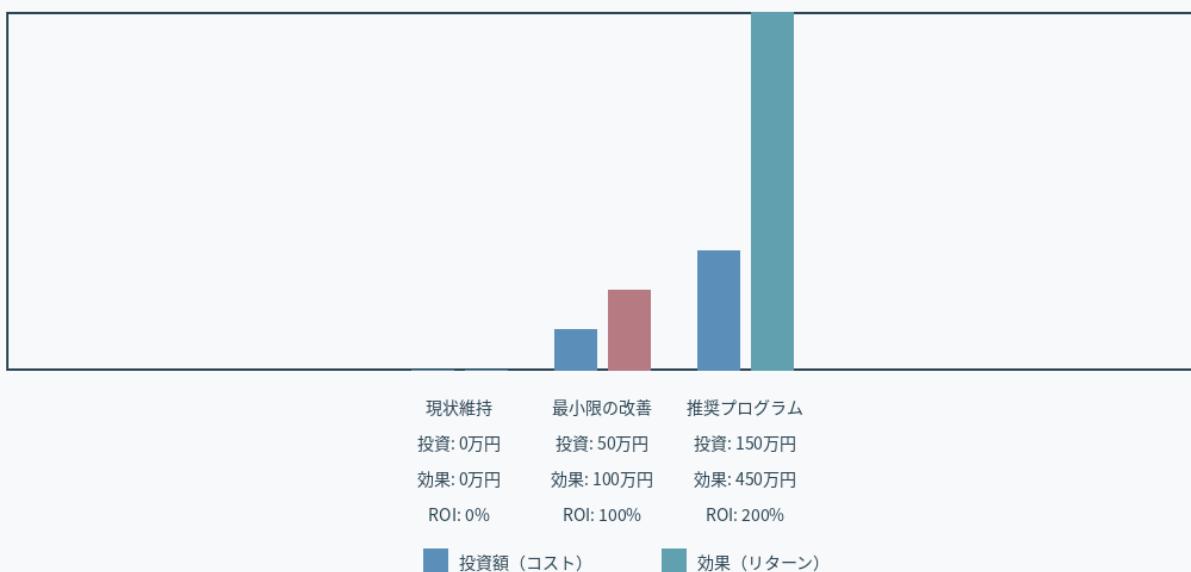
サポーター育成の重要性

- ・事業拡大には優秀なサポーターの存在が不可欠
- ・5段階のプロセスを通じて計画的に人材を育成
 - ・各段階で適切なサポートと挑戦を提供
 - ・最終的には組織全体に貢献できる人材へと成長

※現在は「発掘」と「育成」段階のサポーターが中心。今後「実践」以上の段階へ育成することが重要です。

投資対効果の比較グラフ

プログラム導入による変化の数値化

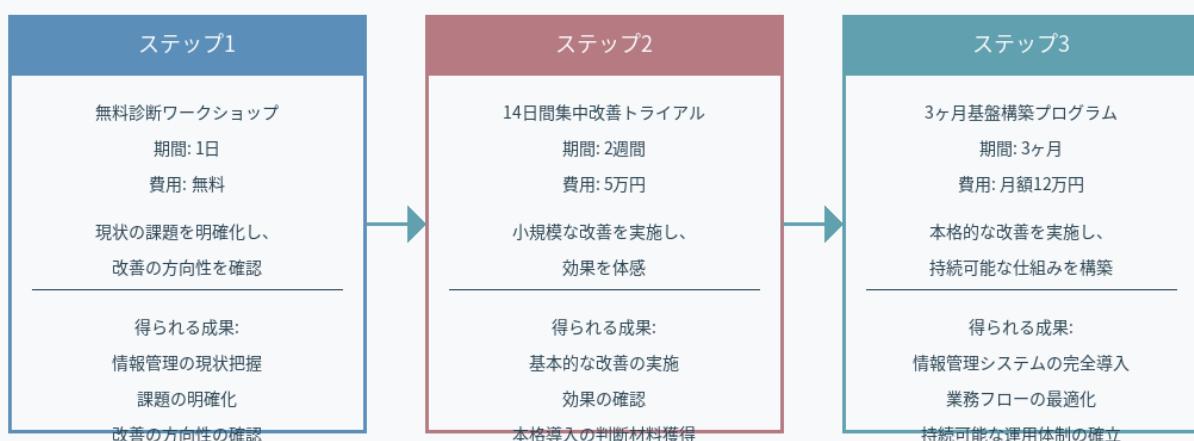


投資対効果の分析

- 現状維持: 追加投資なしだが、成長機会を逃す
 - 最小限の改善: 少額投資で一定の効果が得られるが、限定的
- ※投資効果は1年間の累積効果を試算。推奨プログラムは3年間で考えるとさらに効果が高まります。
- ・推奨プログラム: 適切な投資で大きなリターンを実現 (ROI 200%)

段階的な次のステップ提案図

小さく始めて効果を確認してから次へ進む



実施時期 (4-6月)



※各ステップの効果を確認してから次のステップに進むことで、リスクを最小限に抑えながら改善を進められます。